

《肥料の施肥例》

土壌pHは6.5を目安に。堆肥と石灰、リン酸をたっぷり施して畝を作ろう！

◎元肥 (1㎡当たり全層施肥)

おいしい菜園 → 80g

他に…トヨクィーン(石灰) → 120g

吟遊詩人(バーク堆肥) → 2kg

PKマグ32 → 50g …等

※PKの代わりに熔燐や苦土燐肥も可

◎追肥 (1㎡当たりの1回の量)

おいしい菜園 → 50g

※1回目の追肥は雪解け後すぐ。2回目はその1か月後(5月始め)頃とする。

※追肥が遅れたり多すぎると球が割れる場合があるので注意！また5～6月の肥大期に乾燥が続いた場合も割れやすく肥大しにくいので、適宜水やりを行う。



この肥料の特徴

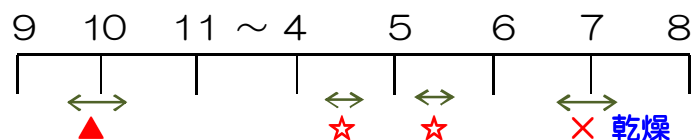
粟のような形状で水に溶いて液肥にもでき、土を荒らさない安心して安全な中性化成肥料。速効性だが元肥・追肥両方に使用できる。

にんにく

▶ 特徴と栽培のポイント

ユリ科の野菜(ネギやニラ等)にはスタミナ野菜というイメージがありますが、特ににんにくは薬味としても世界中で用いられ健康食としても重用されています。料理のアクセントに備えておきたい野菜です。

▶ 栽培カレンダー ▲定植 ☆追肥 ×収穫



栽培のポイントは、①早く植えないこと ②排水の良い圃場を選ぶこと ③適期に追肥すること、の3点です。当地方は積雪量が多く消雪後に腐れや病気の多発するケースが増えています。原因は植え付け時期が早い、マルチングで過湿(窒息)状態、肥料切れ(草勢低下)等と思われ、種子消毒の実施や春のマルチ撤去(ムレ防止と施肥対策)等が必要です。

植え付けは株間15～20cm、深さ3～5cmで立てて植えます。芽が複数出た場合は1本だけ残し、初夏に抽だいたした場合も芽を摘み取ります。収穫と乾燥についてはこちら➤

《人気の品種》

●ホワイト六片

青森が主産地として有名な品種。粒がしっかりしていて辛みと甘みのバランスもよく、マイルドな香りが特徴。



●行者にんにく



収穫できるようになるまで5年以上かかるため、希少な山菜として知られている。茎や葉をおひたしや炒め物にして食したり(強いにんにく臭あり)、しょうゆ漬け等で保存することが多い。

【収穫と保存】

茎葉の3分の1から半分程が黄化した頃に試し掘りし、球の状態(下図参照)を見て収穫する。茎は10cm程残して紐でくくり、風通しの良い所に吊るして自然乾燥させる。しっかり乾燥させないと腐るので、皮むきと乾燥を繰り返し中が透けるまで行う。その後は冷蔵で数か月保存が可能。

